



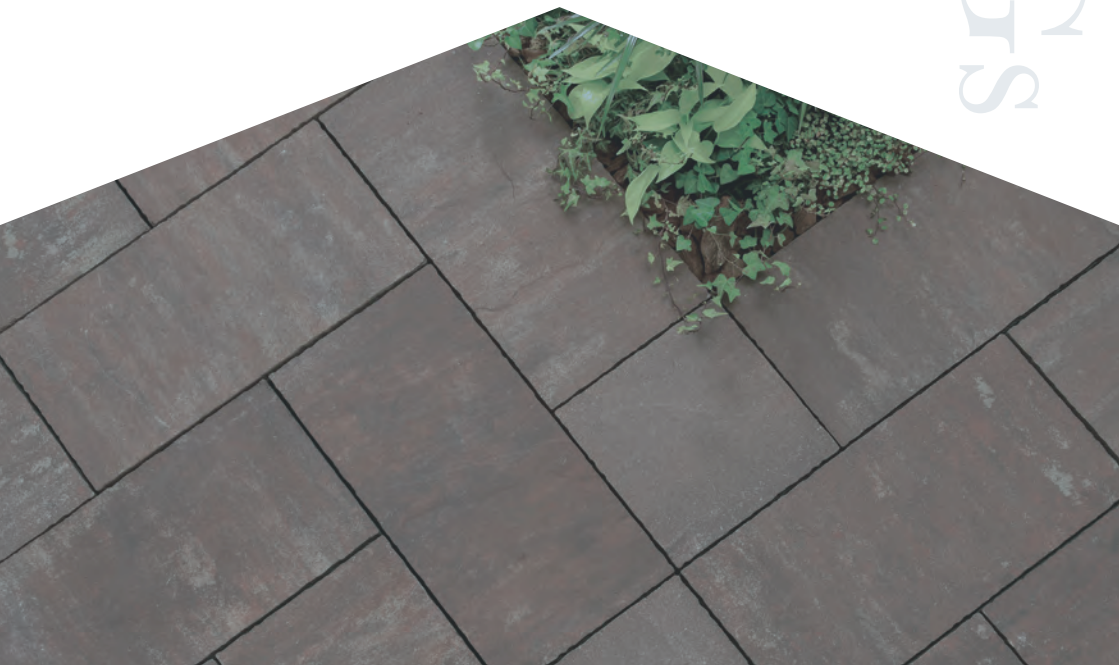
ブロックと SDGoals

— 循環型社会の構築を目指して —

...

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

Block & SDGs



はじめに

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり2015年の国連サミットで定めた17の目標を2030年までに国際社会共通の目標として達成することを目指すものです。

日本国内では大企業の55.1%、中小企業でも36.6%（帝国データバンク調べ）が積極的に取り組みをしています。

我々の組合が生産する空洞コンクリートブロックやコンクリート製品は循環型社会の構築に寄与することを目標に掲げ、種々の安心で安全な対策や新しい利用方法を提案するものであります。

目標の具体例として

3 すべての人に健康と福祉を



ブロック製品は健康で快適な生活を提供します。

8 働きがいも経済成長も



働きやすい環境で製品を生み出し経済成長を支えます。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



ブロックは安定した資材として活用法が多いです。

11 住み続けられるまちづくりを



多種多様な製品を組み合わせ、快適な街造りの提案をします。

12 つくる責任 つかう責任



材料のリサイクル化を進め、省資源技術で環境に優しい製品を開発します。

13 気候変動に具体的な対策を



火災や地震、台風、水害から人を守ります。

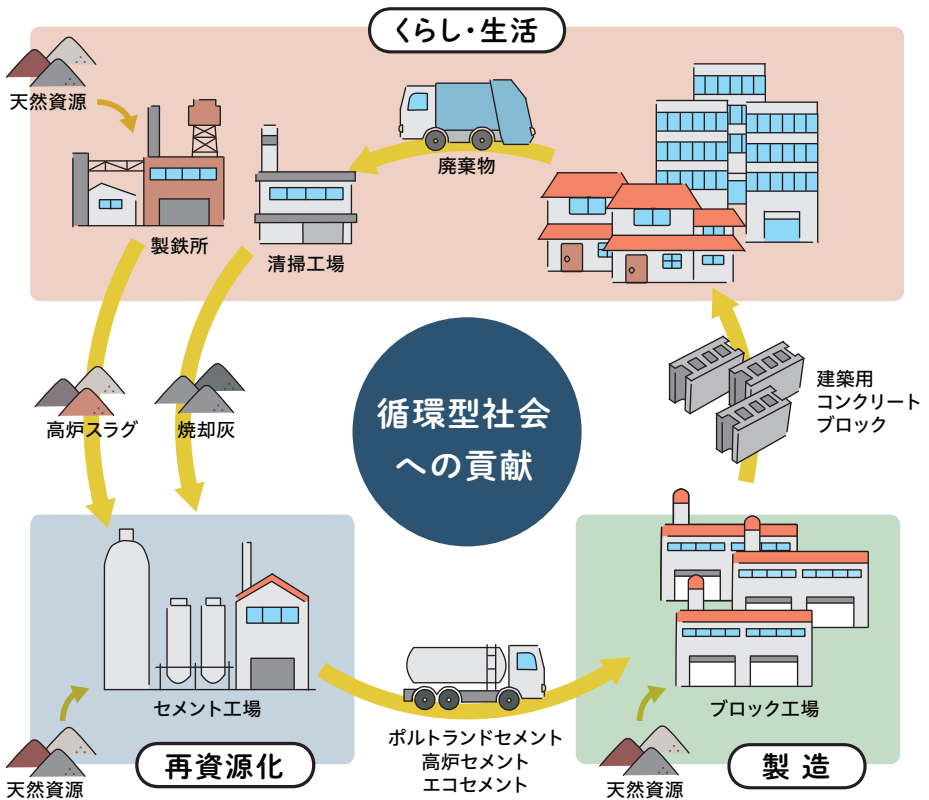
17 パートナーシップで目標を達成しよう



関連産業と連携を保ち循環型社会の構築を目指します。

1. 循環型社会に貢献する

循環型社会とは、天然資源の消費を極力少なくし、資源の循環的利用を促進、廃棄物等の発生の抑制、並びに廃棄物を適正に処分することで環境への負荷ができる限り低減されている社会のことをいい、地球規模で取り組んでいる課題です。この状況をコンクリートブロックに置き換えると、循環型社会の形成に多大な貢献をしていることが分かります。



出典：「よくわかるブロック建築工事」

1-1 消費量削減

施工において、仮設材料の使用が極めて少なく、組積するブロックは既製品として一個単位で調達可能なので残材とならず、組積工事に使用するモルタルは必要量のみ現場で製造するので無駄が生じません。また、ブロックは、空洞部にコンクリートを打ち込むだけで鉄筋コンクリート建造物と同様の建物となるので型枠が不要となり、天然資源の木材を使用することがないエコな建材です。

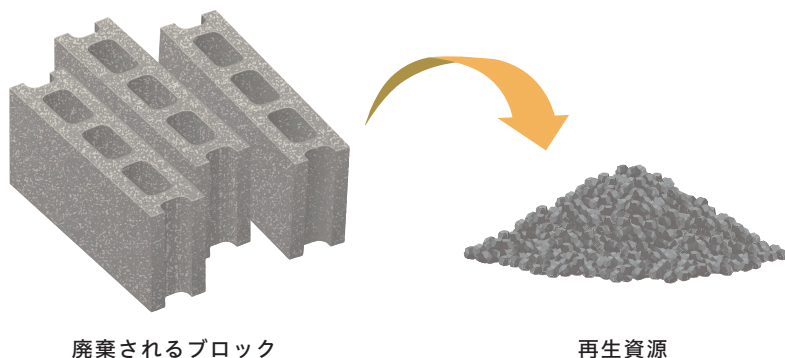
1-2 廃棄物発生抑制

ブロックは、腐らない、変質しない素材であり、長い年月にわたり建物として使用することができるため、社会全体として廃棄物量が少なくなります。また、ブロックは、内部に空洞を有するため、廃棄された後の破碎により廃棄物としての容積が減少します。

1-3 持続可能な資源の循環的使用が可能

ブロックは資源が循環的に利用されています。その原料として廃棄物を利用した高炉セメント・エコセメント・ポルトランドセメントが使用されています。

一方、ブロック建築を解体した廃棄物は、破碎処理などの後、路盤材や埋戻し材などの再生骨材として使用可能です。



2. 安心、安全に暮らしを守る

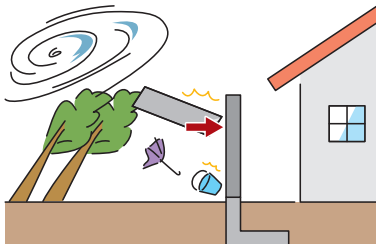
コンクリートブロックの塀は、しっかりとした施工により非常に強固で、その使い方によって安心・安全な暮らしを提供することができます。

ブロック塀は防災・防犯に優れています！



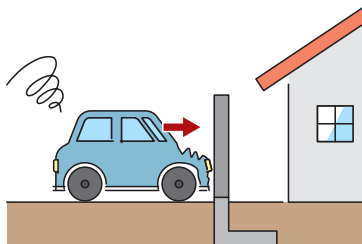
風害

強風の際に飛んできた看板や枝など、飛来物を防いでくれます。



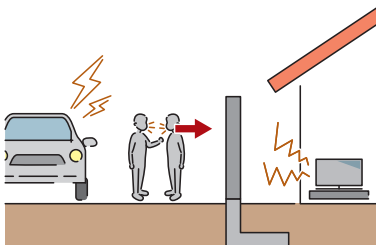
突入防止

車の突入から、家族の命・家を守ります。崩れても比較的簡単に修復できます。



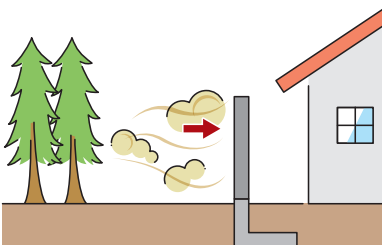
視線・音

外からの視線や、内外の音を遮蔽します。プライバシーと静かな暮らしを守ります。



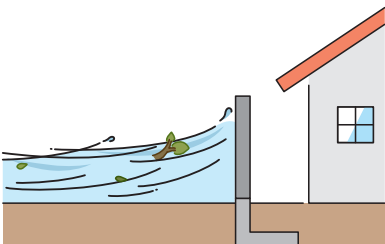
砂埃・花粉・黄砂

隙間の無い遮蔽物であるため、細かい粒子の飛散物も防ぐことができます。

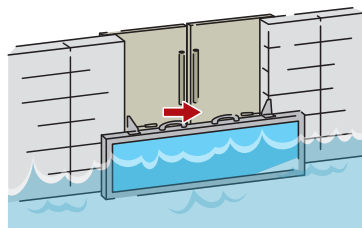


水災

濁流が直接押し寄せるより、被害を減らすことができます。



さらに、止水板と組み合わせると、水災時の備えとして安心です。



2-1 新しくブロック塀を作るときは

ブロック塀は防災・防犯、また町並みの景観など私たちの生活に大いに役立っています。しかし、地震においてはコンクリートブロック塀が倒壊するという事例もあり、その安全性の確保については地域社会の共通する願いです。

では、安全なブロック塀とはどのようなものでしょう。それは、「何が起きても瞬時に倒れない塀」です。

地震や台風などによる大きな横からの力を受けても、簡単に倒れることなく、人がその場所から避難するための時間や空間が確保される、粘り強いコンクリートブロック塀が安全な塀です。

注意するポイント

ブロック塀の設計の最低条件が建築基準法で定められ、さらに日本建築学会では、より安全性の確保を考慮した「コンクリートブロック塀設計規準」、「ブロック塀施工マニュアル」などで細かく設計・施工について規定されています。設計及び施工管理を建築士やブロック建築技能士またはコンクリートブロック工事士が在籍している事務所に依頼することが安全なブロック塀をつくる基本です。

3.

快適な生活

ブロック建築は、蓄熱性、断熱性、遮音性に優れ、室内空間を快適なものにするとともに、省エネルギー建築であり、高規格な長期優良住宅として不要なエネルギーの使用の抑制が図られます。



日比野建築計画室

4.

造形性のある生活

ブロックは、自然素材で作られるブロックのもつ素朴な味わい、組積美が表現する力感かつ安定感のあるパターンなど、優れた造形性を有しています。



日比野建築計画室

5.

地域との協働

5-1 気候への対応

冬の寒さが厳しい北海道はもちろん、気温が高く台風の影響を受けやすい沖縄県で多く建てられており、気候変動が進む環境では本州にも需要が広まると期待されています。



写真提供：タイムス住宅新聞社
設計：真玉橋設計事務所

5-2 地域性

ブロック建築は、様々な条件の敷地に建設可能です。施工は、地元のプロック建築技能士などにより行われるため、地域密着型の産業構造といえます。



設計：(有)パワーハウス/U建築設計室

■ 組合員

株式会社赤城商会

〒377-0203 群馬県渋川市吹屋1093番地4
TEL: 0279-24-3131 FAX: 0279-23-1447



エスビック株式会社

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝105
TEL: 027-371-2321 FAX: 027-371-5724



株式会社関東

〒379-2234 群馬県伊勢崎市東小保方町4003
TEL: 0270-62-1141 FAX: 0270-62-8306



笹沢建材株式会社

〒370-0078 群馬県高崎市上小鳥町562番地
TEL: 027-362-7310

大成ブロック興業株式会社

〒379-2204 群馬県伊勢崎市西久保町1-418
TEL: 0270-62-1575 FAX: 0270-63-0039



マチダコーポレーション株式会社

〒379-2197 群馬県前橋市駒形町618
TEL: 027-266-1211 FAX: 027-266-2014



■ お問い合わせ

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町二丁目13の2
TEL: 027-251-1311 FAX: 027-251-1312
[ホームページ] <https://gunma-cbi.or.jp/>



群馬県ブロック建築技能士会

〒370-0314 群馬県太田市新田市野井町1517-2
TEL: 0276-57-1457